

特許協力条約

PCT

国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条)
[PCT36条及びPCT規則70]

15 JAN 2004

W O PCT

出願人又は代理人 の書類記号 330300146WO1	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知（様式PCT/IPEA/416）を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JPO3/08927	国際出願日 (日.月.年) 14.07.03	優先日 (日.月.年)
国際特許分類 (IPC) Int. C17 G02F1/1343, G02F1/1368		
出願人（氏名又は名称） 株式会社日立ディスプレイズ		

1. 国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。

2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。

- この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関に対しても訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面も添付されている。
(PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照)
この附属書類は、全部で _____ ページである。

3. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- I 国際予備審査報告の基礎
- II 優先権
- III 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- IV 発明の単一性の欠如
- V PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- VI ある種の引用文献
- VII 国際出願の不備
- VIII 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 14.07.03	国際予備審査報告を作成した日 11.12.03
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官（権限のある職員） 右田 昌士 (印) 電話番号 03-3581-1101 内線 3293

I. 国際予備審査報告の基礎

1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。
PCT規則70.16, 70.17)

 出願時の国際出願書類

- | | | | |
|-------------------------------------|---------|--------|----------------------|
| <input type="checkbox"/> 明細書 | 第 _____ | ページ、 | 出願時に提出されたもの |
| 明細書 | 第 _____ | ページ、 | 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの |
| 明細書 | 第 _____ | ページ、 | 付の書簡と共に提出されたもの |
| <input type="checkbox"/> 請求の範囲 | 第 _____ | 項、 | 出願時に提出されたもの |
| 請求の範囲 | 第 _____ | 項、 | PCT19条の規定に基づき補正されたもの |
| 請求の範囲 | 第 _____ | 項、 | 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの |
| 請求の範囲 | 第 _____ | 項、 | 付の書簡と共に提出されたもの |
| <input type="checkbox"/> 図面 | 第 _____ | ページ/図、 | 出願時に提出されたもの |
| 図面 | 第 _____ | ページ/図、 | 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの |
| 図面 | 第 _____ | ページ/図、 | 付の書簡と共に提出されたもの |
| <input type="checkbox"/> 明細書の配列表の部分 | 第 _____ | ページ、 | 出願時に提出されたもの |
| 明細書の配列表の部分 | 第 _____ | ページ、 | 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの |
| 明細書の配列表の部分 | 第 _____ | ページ、 | 付の書簡と共に提出されたもの |

2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の言語である。

上記の書類は、下記の言語である _____ 語である。

- 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語
- PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語
- 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語

3. この国際出願は、スクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。

- この国際出願に含まれる書面による配列表
- この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表
- 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表
- 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表
- 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった
- 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

4. 補正により、下記の書類が削除された。

- 明細書 第 _____ ページ
- 請求の範囲 第 _____ 項
- 図面 図面の第 _____ ページ/図

5. この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかつたものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1.における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)

V. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)

請求の範囲 1-20 有
請求の範囲 _____ 無

進歩性 (I S)

請求の範囲 9-17 有
請求の範囲 1-8, 18-20 無

産業上の利用可能性 (I A)

請求の範囲 1-20 有
請求の範囲 _____ 無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1：JP 2003-149664 A (株式会社日立製作所),
 2003. 05. 21

文献2：US 6128061 A (Lee et al.), 2000. 10. 03

文献3：US 6233034 B1 (Lee et al.), 2001. 05. 15

文献4：US 2002/1867 A1 (Sung et al.),
 2002. 01. 03

文献5：JP 11-101992 A (シャープ株式会社),
 1999. 04. 13

文献6：US 6281952 B1 (Okamoto et al.), 2001. 08. 28

請求の範囲1-2, 4, 18-20に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1と文献2とにより進歩性を有しない。文献1の第66~70段落、図9に開示された電極構造のうち対向電極が反射型である部分について、文献2の第11欄第5行~第12欄第4行、第16図に開示された電極構造を採用することは、当業者にとって容易である。

請求の範囲3に係る発明は、文献1、文献2及び国際調査報告で引用された文献3と文献4とにより進歩性を有しない。対向電極全体を透光性部材とすることは周知であり（例えば、文献3の第20欄第25行~第21欄第18行、第14図、第15図、及び、文献4の第5~7段落、第2図を参照）であり、上記文献2の電極構造を採用した文献1において、対向電極全体を透光性部材とすることは、当業者にとって容易である。

請求の範囲5-8に係る発明は、文献1、文献2及び国際調査報告で引用された文献5と文献6とにより進歩性を有しない。電極上の絶縁膜の厚みを違えることにより、透過部のセル厚を反射部のセル厚より厚くすることは周知であり（例えば、文献5の第57~63段落、図10、及び、文献6の第18欄第21行~第20欄第14行、第1図を参照）であり、上記文献2の電極構造を採用した文献1において、電極上の絶縁膜の厚みを違えることにより、透過部のセル厚を反射部のセル厚より厚くすることは、当業者にとって容易である。また、透過部、反射部それぞれの絶縁膜及びセル厚の具体的な厚みは、当業者が容易に設計し得ることである。

請求の範囲9-17に係る発明は、国際調査報告で引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。